KISO POWER TOOL

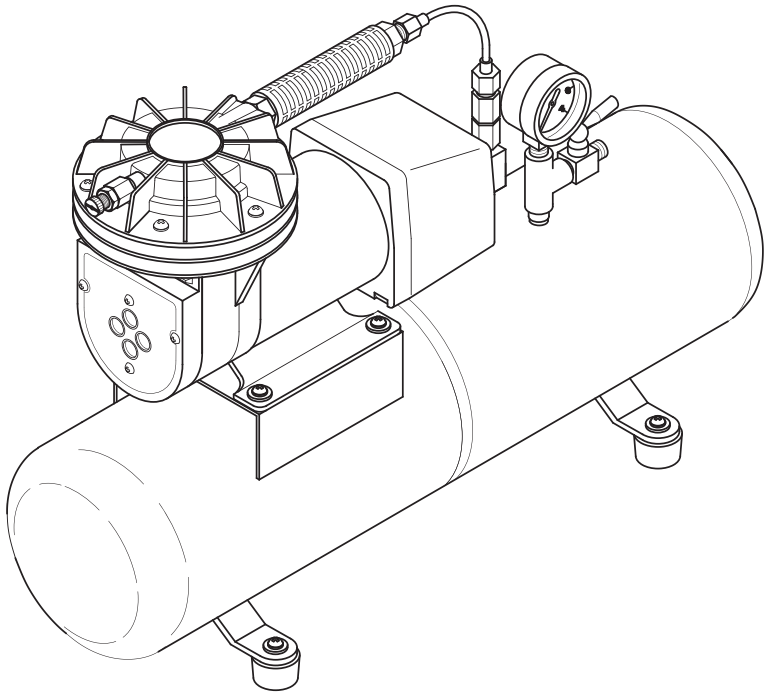
エアータンク付

ミニコンプレッサー

E5305T・E5505T

取扱い説明書

ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までお読みください。
また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

■ 表 面
- ●保守と点検
- ●アフターサービス
- ●各部の名称 / 仕様 / 用途
- ●使用上の警告および注意

■ 裏 面
- ●電源の接続とスイッチ操作
- ●ヒューズの交換方法
- ●使用方法
- ●各種メンテナンス

保 守 と 点 検

●使用後は、汚れなどを取り除いたのち、エアーブラシ、エアーホース等を取り外して保管してください。

●使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。
万一、異常があったときは、そのまま放置せず、メーカーに点検、修理を依頼してください。
（有償修理）

●本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、拭いたりしないでください。
また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、拭いたりしないでください。
変形、変色の原因となります。

●保管は小さいお子様の手が届かない、室内の安定したところにしてください。
また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

アフターサービス

●保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、無償で修理いたしますので、
「保証書」は大切に保管してください。
保証についての詳しいことは、「保証書」裏面をご覧ください。

●万一故障が発生した場合

故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡下さい。

アフターサービス係

受付時間　月～金（祝日除く）9:00 ～ 12:00・13:00 ～ 17:00

直通ダイヤル　06－6693－5353

修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送りください。
なお、送料はお客様のご負担となります。

〒545－0021
大阪市阿倍野区阪南町 7 丁目 1 － 8
株式会社 キソパワーツール　アフターサービス係

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の特性を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、
３年間保有しております。

製造元　株式会社キソパワーツール

●商品に関するお問い合わせは
株式会社 キソパワーツール　アフターサービス係
〒545－0021　大阪市阿倍野区阪南町7丁目1－8
TEL:06－6693-5353　FAX:06－6693-5355

受付時間	月～金（祝日を除く） 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00

http://www.kiso-proxxon.co.jp/

※改良のため予告なく仕様、使用方法等を変更する場合があります。

100OSIK8001A

この度は、ミニコンプレッサーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
安全に能率よくお使い頂くために、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故をすくなくするため、次に述べる安全上のご注意を必ず守ってください。
使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして指示に従って使用してください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部の表示「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

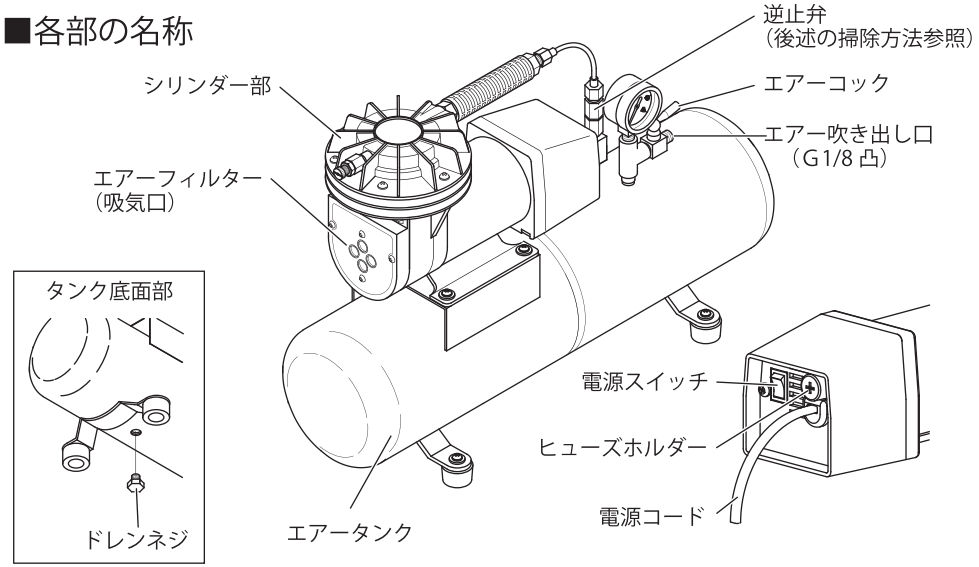
⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

⚠ 警 告

1. 作業場はいつもきれいに保ってください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。また、感電にも注意してください。
   ●コンプレッサーは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないでください。
   ●作業場は十分に明るくしてください。 ●可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
   ●コンプレッサーを使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
   （例：パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
3. 使用電源は家庭用 100V、50/60Hz 電源をご使用ください。
4. 作業中無理な負荷をかけたり、銘板に表示してある定格使用時間以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部や器体が異常に発熱し、故障やけがなどの原因となります。
   ●安全に能率よく作業するために、製品の性能にあった作業をしてください。
   ●定格時間以上の連続使用はしないでください。長時間使用する場合は、指定の定格時間で必ず一度スイッチを切り（OFF）約 15 分たってから使用してください。
   ●小型のコンプレッサーは、大型のコンプレッサーで行う作業には使用しないでください。
5. コンプレッサーは作動中および作動直後、シリンダーヘッド部およびその他の金属部分が熱くなりますので手などを近づけないでください。
6. コンプレッサーは平らなところで使用してください。
7. 指定された用途以外での使用は絶対に行わないでください。
8. 次の場合は、コンプレッサーの電源スイッチを切り（OFF）電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
   ●使用しない場合、または修理する場合。 ●エアーブラシ、アクセサリー等の取り付け、交換する場合。
9. エアーブラシ、アクセサリー等の取り付けは取扱い説明書に従って確実に取り付けてください。確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。また、作業前には、必ず試運転を行ってください。
10. 電源を入れる（ＯＮ）前に、付属品の取り付けに使用した工具類が取り外してあるか確認してください。
11. 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源スイッチが切れている（OFF）事を確認してください。
12. 延長コードを接続して使用する場合、器体にあった延長コードを使用してください。
13. コンプレッサーは、注意深く手入れしてください。
   ●付属品の交換は、取扱い説明書に従って下さい。
   ●コード類は定期的に点検し、損傷している場合は、メーカーに修理（有償）の依頼をしてください。
   ●握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付着しないようにしてください。
   ●駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか確認してください。異常のある場合はメーカーに修理（有償）の依頼をしてください。
14. 指定の付属品や別売品、または指定している同等品を使用してください。それ以外の物を使用すると、事故やけがの原因になります。
15. 誤っておとしたり、ぶつけたときは、本体に損傷や亀裂、変形がないことをよく確認してください。そのまま使用すると事故の原因になります。異常のある場合はメーカーに修理（有償）の依頼をしてください。
16. 本製品は、該当する安全規格に適合しています。改造は絶対に行わないでください。
17. 修理は必ず弊社までお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

◆その他、取扱い上ご不明な点があった場合、弊社、アフターサービス係までお問い合わせください。

■各部の名称



⚠ 注 意

E5505T 型シリンダー部の圧力調整弁は工場出荷時に調整済みですので触らないでください。

■仕様

モ　デ　ル	E5505T	E5305T（生産終了モデル）
電　源	100V ・ 50/60Hz	
定格消費電力	110W	80W
定格使用時間	30分	
空気量（0.2MPa時）	20ℓ/分	12ℓ/分
最高空気圧力	0.3MPa	0.27MPa
自動スイッチ	0.2MPa･･･ON 0.3MPa･･･OFF	0.15MPa･･･ON 0.25MPa･･･OFF
機体寸法	470Ｘ140Ｘ315mm	307Ｘ136Ｘ290mm
重　量	7.2kg	5.5kg
エアー出力口	G1/8凸	
付　属　品	エアーホース2m（両口G1/8凹：E1312）	

※0.1MPa＝約 1.0kg/cm^2
※自動スイッチの数値は基準値です。実際には±0.01MPa程度の誤差があります。

■用途

●普通乗用車用タイヤの空気入れ。（注１）（注２）
●遊技用ゴムボート・エアーマット等の空気入れ。（注１）（注３）
●各種ボールの空気入れ。（注１）
●エアーブラシ等での塗装。
●エアーダスター。

（注１）空気注入口の形状等により、ご使用頂けない場合があります。
（注２）貨物車、４ナンバー車、競技用車種等。高い空気圧を必要とする物にはご使用頂けません。
（注３）遊技用ゴムボートは、子供用の小さなボート（プール用）のことです。
　　釣り船ボート、救命用具等には使用しないでください。

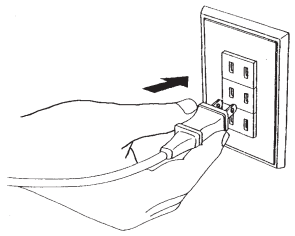
⚠ 警 告

各種空気入れは、必ず圧力計（市販品）を併用し、適正な圧力になるよう行ってください。

■電源の接続とスイッチの操作

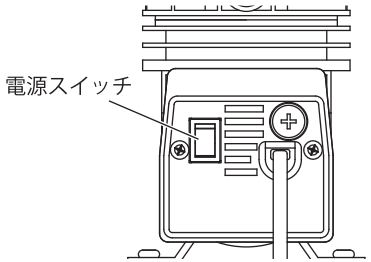
⚠ 警 告

- 本機は家庭用電源 AC100V・50/60Hz 仕様です。
  ご家庭の AC100V 用電源コンセント以外では使用しないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源を接続するときは、必ず本機の電源スイッチが切れている（OFF）ことを確認してから行ってください。
- 停電などの際は、電源スイッチを切ってから、電源コンセントから電源プラグを外してください。
- 電源をはずすとき、電源コードを持って引き抜くと、断線の原因となるだけでなく、跳ね返りから、けがなどの原因になります。必ず電源プラグを持って引き抜いてください。



電源スイッチが切れている（OFF）ことを確認してください。確認後、電源コード先の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

電源をはずす（抜く）ときは、電源プラグを持って電源コンセントから引き抜きます。



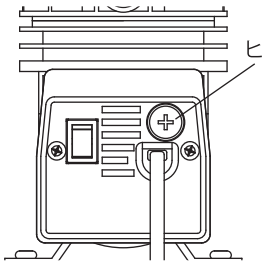
電源スイッチは ON 側を押すと、電源が入り、OFF 側を押すと、電源が切れます。

■ヒューズの交換方法

本機には本体機能保護のためヒューズが装備されております。ヒューズが切れた場合は下記を参照し、2A の管形ヒューズ（市販品）を交換してください。

⚠ 警 告

- ヒューズは 2A の管形ヒューズを使用してください。指定の物以外のヒューズでは本体機能が保護できず、事故、故障の原因になります。
- 切れたヒューズはすぐに処分してください。
- ヒューズを交換するときは、必ず電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグを電源コンセントからはずして（抜いて）、作業してください。
- ヒューズに子供を近づけないでください。
- 度々、ヒューズが切れる場合、故障などの可能性があります。必ずメーカーまでご相談ください。



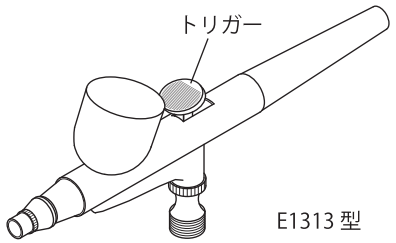
電源スイッチが切れている（OFF）事を確認後、電源プラグを持って電源コンセントから引き抜きます。
ヒューズホルダーを⊕ドライバー（市販品）を利用し、反時計回りに回し、ヒューズホルダーをヒューズと共に取り外します。
ヒューズを交換し、時計回りに回して、ヒューズホルダーを取り付けます。
ヒューズホルダーは樹脂製ですので締めすぎに、十分注意してください。

■ご使用方法

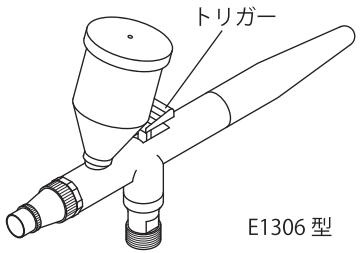
⚠ 警 告

- 各種パーツの接続および取り外しの際は、電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグを電源コンセントからはずし（抜く）、動作していないことを確認してから行ってください。
- 各種パーツは取扱い説明書に従って確実に取り付けてください。
  確実に取り付けされていない場合、十分な能力を発揮できないだけでなく、事故やけがの原因になります。また、作業前に必ず試運転を行ってください。
- 電源スイッチを入れる（ON）前に、確実な接続であることおよび周囲に十分注意してください。
- コンプレッサーは常に平らなところで使用してください。
- コンプレッサー作動中、作動直後はシリンダーヘッド部およびその他の金属部が熱くなります。手などを近づけないでください。やけどなどけがの原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源プラグを電源コンセントからはずして（抜く）ください。
- 本機は防水型ではありません。絶対に水がかからないようにしてください。
- 本機は完全無給油型です。油等はささないでください。
- 使用中、エアーフィルター（吸気口）をふさがないでください。発熱の原因となります。
- 電源スイッチを入れても（ON）始動しない場合、速やかに電源スイッチを切って（OFF）ください。圧縮空気が機体内部やホース内に溜まっていることが原因の場合があります。一旦、電源を切って（OFF）、30 秒以上間をあける、接続しているホースを取り外し空気を抜くなどし てください。その後、再度、電源スイッチを入れて（ON）ください。これでも始動しない場合、 必ずメーカーまでご相談ください。
- 空気入れなどの際、圧力が指定されている場合は、必ず圧力計（市販品）で圧力を確認してください。

●E1313 型エアーブラシ、E1306 型エアーブラシ（生産終了モデル）



E1313 型



E1306 型

① エアーブラシを本機に付属のエアーホースで接続します。

② 前述を参照し、電源を接続後、電源スイッチを入れます。

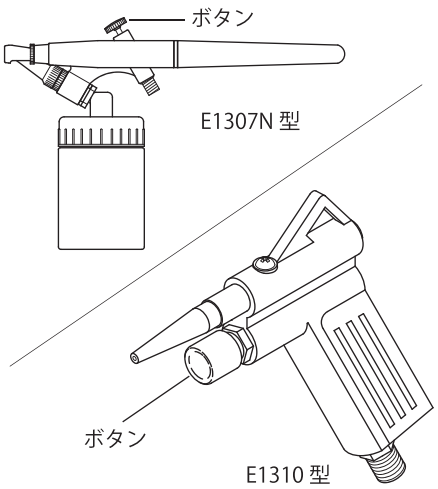
③ エアーブラシのトリガーを下に押し込むと、エアーブラシからエアー（空気）が出ます。

④ エアー（空気）の吹き出しを確認後、エアーブラシのトリガーを下に押し込みながら、後方に引くと塗料が出ます。後方に引く量を調節し塗料の量を調節しながら塗装します。

⑤ 塗装が終わりましたら、エアーブラシの後方に引いたトリガーを下に押し込みながら前方に戻し、次に、下に押し込んだトリガーを元の位置に戻します。

⑥ 作業が終了しましたら、必ず本機の電源スイッチを切って（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外してください。

● E1307N 型エアーブラシ（販売終了モデル）、E1310 型エアーダスター



① ・E1307N 型エアーブラシの場合：
エアーブラシに付属のエアーホースとアダプターで接続します。アダプターはコンプレッサー側に取り付けます。

・E1310 型エアーダスターの場合：
本機に付属のエアーホースで接続します。

② 前述を参照し、電源を接続後、電源スイッチを入れます。

③ エアーブラシ、エアーダスターのボタンを、押さえると、エアー（空気）が出ます。

④ 作業が終わりましたら、ボタンを戻します。

⑤ 作業が終了しましたら、必ず本機の電源スイッチを切って（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外してください。

⚠ 警 告

・作業終了後は必ず、本機の電源スイッチを切って（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外して（抜く）ください。
・定格使用時間は連続して使用した場合の使用時間を明記しております。
電源（コンプレッサーの作動）の入り、切り（ON-OFF）の繰り返しは連続使用と同等ですので、定格使用時間を目安にご使用ください。

●自動車用タイヤの空気入れ〔要：別売品 E1338 型 自動車ノズル〕

⚠ 警 告

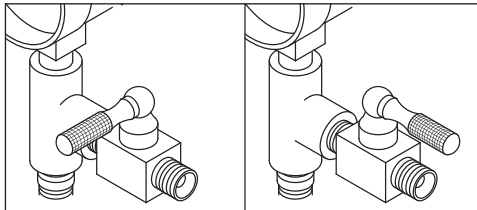
・自動車用タイヤの空気入れは必ず適正な空気圧になるよう、圧力計（市販品）を併用し、作業を行ってください。適正な空気圧でない場合、けがや事故の原因になります。
・自動車用タイヤへ空気入れを行った際は、必ず、自動車用タイヤ専門店などで再度、適正であるか、確認を行ってもらってください。
・自動車用タイヤへの空気入れのとき、状況に応じて（例：50%以上、空気が抜けている場合）、ジャッキアップを行ってから空気入れを行ってください。
・自動車用タイヤへの空気入れのとき、E1338 型 自動車ノズルが別途必要です。
（空気注入口の形状によって、適合しない場合があります。）

●各種ボール、遊技用ゴムボート、エアーマットなどの空気入れ〔要：別売品 E1301 型 ノズル 4 点セット、E1329 型 アダプター〕

⚠ 警 告

・空気の入れすぎには十分注意してください。空気の入れすぎは、ボール、ゴムボート等の寿命を短くするだけでなく、けがや事故の原因になります。
・ゴムボートへの空気入れは、遊技用（例：２人以下の小さいボート、プール用）以外には絶対に使用しないでください。
・別売品 E1301 型ノズル 4 点セットに含まれる、自転車用ノズルで自転車用タイヤへの空気入れを行う際、必ず適正な空気圧になるよう、圧力計（市販品）を併用し、作業を行ってください。
・適正な圧力で空気入れを行うために、圧力計（別売品）を併用してください。

● エアーコックの開閉

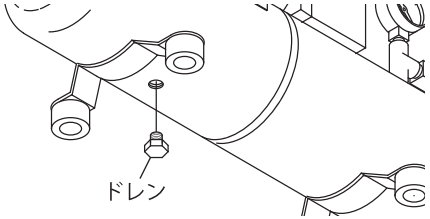


エアーコックの開閉はコック（つまみ）を図の位置にすることで、行えます。

●エアータンクの水抜き

⚠ 警 告

水抜き作業は必ず、電源プラグを電源コンセントからはずし、エアータンク内の圧縮空気が完全に抜けていること確認してから行ってください。



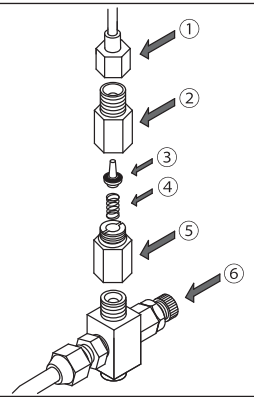
①電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外します。
②エアータンク内の圧縮空気を完全にぬきます。
③エアータンク底部のドレンを取り外し、タンク内に溜まった、水を抜きます。
④水抜き終了後、ドレンを確実に取り付けます。
※17mm のスパナ等があると作業が容易です。

使用頻度によりますが、3 ～ 6 ヶ月（目安）に一度、水抜き作業を行ってください。
エアータンク内に水を溜めて放置しておくと、エアータンクが腐食して破損の原因になります。

●逆止弁の掃除

⚠ 警 告

逆止弁の掃除は必ず、電源プラグを電源コンセントからはずし、エアータンク内の圧縮空気が完全に抜けていること確認してから行ってください。



1. 電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外します。
2. エアータンク内の圧縮空気を完全にぬきます。
3. スパナ等で①、②をゆるめて取り外します。
4. ②に③、④が取り付いている場合がありますので取り外します。 ※⑤は取り外しません。
5. ②の内側、③の周囲をよく拭いて掃除してください。

③に付いているO（オー）リングが破損している場合はメーカーまでお問い合わせください。

6. ⑤に④、③の順で取り付け、②、①をスパナ等で締め、確実に取り付けてください。

⑥は工場出荷時に調整済みです。お客様自身での調整等は行わないでください。

使用頻度によりますが、2 ヶ月（目安）に一度、逆止弁の掃除を行ってください。
逆止弁に不純物などが付着すると、圧力スイッチが正常に作動しなくなります。